

「編集会議」

1



いよいよ大詰めです。

2



ひかるさんの講義が始まりました。

3



プレゼントはコミュニケーション。

4



まとめの作業に入ります。

5



思い出と写真を並べます。

6



だんだんとレイアウトが決まり・・・

集合

探られる島プロジェクトもいよいよ大詰めの6日目。今日は場所を梅田にある大阪産業大学サテライトキャンパスに換え、探られる島2007ガイドブックの編集会議を行います。ガイドブックに紹介したい、いえしまの良さを話し合い、それぞれがいえしまで見たこと、聞いたこと、感じたことをたった1枚の用紙にまとめ、プレゼンテーションを行います。(1)

プレゼンテーション講座

2日目にも登場したひかるさんによるプレゼンテーション講座が始まりました。自分の思いを人に伝えるときに大切なことって何なのか、共感をよぶプレゼンテーションをするにはどうすればいいのかなど、これからみんなで行うプレゼンテーションだけではなく、これからの生活でとても大切な知識とスキルを講義していただきました。ひかるさんによれば、プレゼンテーションとは、「何を伝えたいか」という確固たる軸とストーリーがあり、相手の心と態度を変容させるものだと言います。単に舞台上で用意したものを披露するのではなく、聞き手とコミュニケーションをとることが大切だそうです。(2)(3)

いえしまのもてなしを整理する

講義のあとは、参加者それぞれホストファミリーに民泊したメンバーに分かれて、ガイドブックに掲載するいえしまのもてなしを考えます。これまでの思い出と写真をテーブルに並べ話し合う参加者たち。いえしまというアウェイで、本土にホームを持つ参加者が純粋にうれしかったこと、楽しかったこと、おもしろかったこととは何なのか、その表層と深層に間にどんな本質が横たわっているのか。話し合っていくうちに思い出が蘇ってきたのか、だんだん笑顔になっていく参加者も。用意された用紙の上で、写真がレイアウトされていき、それぞれが感じたいえしまってどういうところだったのかが鮮明になっていきます。1日目のレクチャーを開いてくれたやまざきさんも参加者と一緒になり思い出を振り返ります。(4)(5)(6)

いえしまをプレゼンテーション

休憩後(というか休憩中も作業は終わりませんでした)、いよいよプレゼンテーションを行いました。ひかるさんから教えてもらったプレゼンテーションのコツを頭にしっかり据えながら、一生懸命プレゼンテーションを行いました。感じたいえしまを言葉でストレートに表現する人、写真で表現する人、スタイルは様々でしたがそれぞれが感じたいえしまがとてもわかりやすく、素直に伝わるプレゼンテーションとなりました。プレゼンテーションのメインはやはり人。もてなしをしてくれた人に焦点が集まり、それぞれが受けたもてなしと、それを生み出した人の個性がいえしまのおもしろさであり、個性なのかもしれません。(7)(8)(9)(10)

ひかるさん+やまざきさんのふりかえり

最後はひかるさんとやまざきさんによるふりかえり。参加者みんなが一生懸命行ったプレゼンテーションを評価していただきました。みんなが素直に表現したいえしま。これが7日目、どんなガイドブックとして登場してくるのか?ガイドブックの作業を前に、事務局の知恵と体力の耐久性はいかに?いろんな思いが1室の中で渦巻きながら6日目は幕を閉じました。(11)(12)

7



参加者のプレゼンが始まりました。

8



聞き手と会話をするように・・・

9



いえしまを素直に表現していきます。

10



みんなの発表は聞き手の心をつかんだようです。

11



ひかるさんによる今日のふりかえり。

12



やまざきさんによる今日のふりかえり。